

<新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて（市長から市民へのメッセージ）>

市民の皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、人の移動が活発になるお盆の時期における県境をまたぐ旅行・移動の中止または延期や、人との接触機会をできるだけ少なくするようお願いをさせていただいているところであり、ご協力をいただいている市民の皆様にあらためて感謝申し上げます。

8月3日に直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数が25人を超える「ステージⅣ（感染爆発段階）」となったことから、第5波の到来を認め、市民の皆様に行動自粛をお願いするメッセージの発出を行ったところですが、以降も感染者の増加は止まらず、わずか9日しか経過していない本日、1日あたりの新規感染者が過去最多の33人（県外発表を含む）となり、直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数が48.1人となるなど、第4波のピークを越えてなお収束が見えない大変危惧する状況です。

そのような中、昨日、三重県知事とオンラインで情報交換を行い、まん延防止等重点措置の適用を含めたより強い措置の実施を要請し、県と市の強い連携のもとでこれ以上の感染拡大を防いでいくことの必要性について認識の一致を確認したところです。そのうえで本市として、貸館における利用時間短縮の協力要請や新たな利用許可の停止、バーベキュー施設やレジャー施設の休止などの緊急措置をとるという苦渋の決断を行ったことについて、市民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

感染力が強いといわれる「デルタ株」は、予想以上に手ごわい相手です。ワクチンを接種した後でも感染の可能性がありますので、「密」を避け、大人数・長時間の会食は行わないなど、引き続き十分な感染対策に努めていただくようお願いいたします。

感染症対策の「切り札」と言われるワクチン接種については、現在、集団接種の予約を一時停止しておりますが、国からのワクチン供給を確認次第、順次再開できるよう準備を進めておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

これまでも申し上げますが、感染者やその家族、事業所や医療従事者等への誹謗中傷、偏見や差別につながる行為は絶対にあってはなりません。誰もが感染するリスクがあることを受けとめ、お互いを思いやる気持ちを持って行動してください。また、ワクチン接種については、あくまでも任意です。様々な事情により接種できない人がいることに配慮し、接種の強制や接種していない人への誹謗中傷などは決して行うことのないようお願いいたします。

令和3年8月12日
四日市市長 森 智広